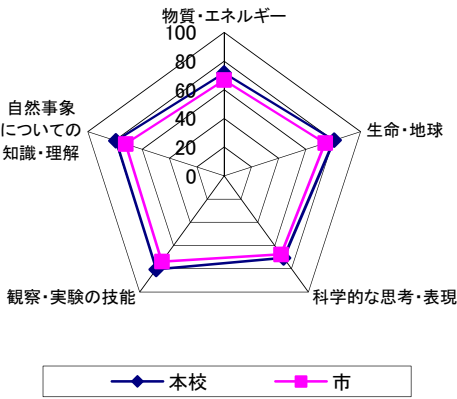


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.7	66.8	63.6
	生命・地球	80.6	74.0	75.3
観点別	科学的な思考・表現	70.7	67.6	65.0
	観察・実験の技能	80.6	73.8	70.4
	自然事象についての知識・理解	79.4	72.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・ 正答率は71.7%で宇都宮市の平均正答率より5ポイント上回っている。内容別に見てみると、「ものの燃え方と空気」の正答率が高く、市の正答率より10ポイント上回った。	・ 「電磁石の性質を利用し、空き缶を集める道具を考える問題」と「水溶液の違いを調べた結果から酸性の水溶液を見つける問題」の2つの問題のみ、市の正答率を5ポイント程度下回っていた。既習事項を復習し、理解を深められるようにするとともに、学習した内容を生かした実験、製作活動を取り入れ思考を深めさせていく。さらに、調べ学習を通し、身近な生活の中でも学習した内容が活用されていることを知り、興味関心を高めさせる。
生命・地球	・ 正答率は80.6%で宇都宮市の平均正答率より6ポイント上回っている。特に「人のたんじょう」と「植物のからだとはたらき」の正答率が高く、市より10～20%上回っており、得意な単元となっている。	・ 「動物のからだの血液の循環」に関する内容が市の正答率を5ポイント下回っていた。知識・理解が高められるように、既習事項の復習プリントや練習問題を活用していく。また、自然事象に目を向け、何故そうなるのか考えさせることで、自然事象に対する興味関心を高める。